

平成24年度湘南地域防犯コミュニティ講座 結果概要

多くの防犯活動団体の方に参加いただき、「安心して暮らせる地域づくりを目指して」を講座のテーマとして講演、活動事例発表、警察からの現況報告・情報提供、参加者相互の情報・意見交換等を行いました。杉森先生の講演からは、「地域防犯力の向上」を図るための基本やソフトとハード面からの防犯環境設計及び対話・交流で防犯意識を高揚するためのノウハウ等をお聴きしました。 多摩大学学生防犯パトロール隊「たまパト」の活動事例発表では、代表の瀧川学生課長より団体の特色等が説明された後、2年生の小木映里奈さんから学生による防犯活動の実例や目標等が発表されました。 警察からの現況報告・情報提供等では、警察本部生活安全サポート班宗田警部補から防犯活動には地域の犯罪情勢を知ることが必要と県内の犯罪動向等が説明されました。 意見・情報交換では、「落書き問題」や「地域の犯罪の特性」等活発な討論で盛り上りました。 杉森先生から総論として「皆さんの防犯意識が高く、今後がとても楽しみである」とのお言葉をいただき、参加者からは、「地域防犯力向上の講演では、具体的な分析と対策がとても参考になった」「活動事例発表が具体的でとても良かった」「現況報告・情報提供で得た知識が今後の活動に役立てる」等、多くの称賛の感想をいただきました。



日時 平成25年3月2日(土曜日)14時00分から16時00分

会場 神奈川県平塚合同庁舎 本館5C,D会議室

内容

- ・講演 「地域防犯力の向上」

講師:杉森 和夫氏(神奈川防犯連絡会会长)

・活動事例発表 「若い力で防犯活動」

多摩大学学生防犯パトロール隊「たまパト」

・警察からの現況報告・情報提供等

神奈川県警察本部 生活安全サポート班 宗田警部補

・情報・意見交換 「聞いて・聞かせてあなたの町の悩み」

(オブザーバー 宗田警部補)

参加者数 63名 (28団体)

平成24年度湘南地域防犯コミュニティ講座 参加者アンケート集計結果
(実施日：平成25年3月2日)

◎回答者数：52名（参加者：63名）

○問1 お住まいの市町、年代について（名）

- ・住所 平塚：14 藤沢：11 茅ヶ崎：9 秦野：2 伊勢原：8
寒川：1 大磯：2 二宮：2 その他 横浜：3
- ・年代 70以上：29 60代：12 50代：2 40代：2 30代：3 20代：1 10代：3

○問2 今回のコミュニティ講座は、活動を進めていく上で参考になりましたか（名）

- ・①参考になった：46
- ・②参考にならなかった：2
- ・無回答：4

○問3 問2で①または②を選択した理由（名）

①参考になった

- ・ 地域防犯力向上の講演では、具体的な分析と対策がとても参考になった（8）
- ・ 活動費用の捻出方法が参考になった（1）
- ・ 団員の確保方法が参考になった（1）
- ・ 地域から犯罪を出さない努力とパトロールの強化をしていきたい（1）
- ・ 防犯活動にはコストがかかると認識できた（1）
- ・ 地域住民との情報交換の必要性を強く感じた。地域の絆の強化に努めたい（1）
- ・ 学生達のボランティア活動に期待しています（1）
- ・ 「たまパト」のみなさんが、地域に根ざし若い人が防犯に関心を持っていることを知り、自分の地域の若い人の参加促進に役立てられると感じた（1）
- ・ 「たまパト」の事例発表が具体的でとても良かった（5）
- ・ 「たまパト」が大学からの前面バックアップがあると感じた（1）
- ・ 多摩大学の学生達が素晴らしかった。自分の孫も入学させたい（1）

- ・ 現況報告・情報提供で得た知識が今後の活動に役立てられると思う（1）
- ・ 生活安全サポート班の活動を知り、今後、色々相談できるのではと感じた（1）
- ・ 他の団体の活動事例、色々な情報を得られて参考になった。（1）
- ・ 今回の情報・意見交換で聞いたことを参考にして町内の防犯活動に役立てたい（1）
- ・ 防犯意識等を理解することが出来、自分の意識を変えることで周りの環境を良くしてきたいと感じた（1）
- ・ 全般的に話が具体的で良かった。とても参考になった（4）
- ・ 防犯意識を今まで以上に高め、今後の防犯活動に活用したい（6）
- ・ 気がつかなかったことが多いことに気づき、新しい発見が出来た（2）
- ・ この講習を通じて防犯活動がいかに大切か再認識した（4）

②参考にならなかった

- ・ 地域の防犯実例が少なかった（1）
- ・ 防犯カメラの種類やランニングコストの具体案が欲しかった（1）

○問4 その他、ご意見等（名）

- ・ 地域防犯力向上の講話は大変参考になったが、メモを取りづらかったので、パワーポイントの画面を印刷して、資料として添付してもらいたかった（3）
- ・ 活動費が少なく苦労している。収入源がない（3）
- ・ ボランティア防犯団体の助成金等を減額しないで欲しい（1）
- ・若い人が少なく会員集めに苦しんでいる。増加させる具体的な方法を知りたい（2）
- ・ 事件・事故の生の情報を聞きたかった（1）
- ・ 犯罪情報をメールで送ってもらえればありがたい（1）
- ・ 問題事例とその解決策があれば良かった（1）
- ・ 様々な実体験を挙げて貰いたかった（1）
- ・ 今後も同様の講座を続けて欲しい（1）